

プロジェクト科目 議事録

2006年 6月 15日提出

プロジェクト科目 テーマ名 小学生のための能楽入門プログラムの開発と研究	
記録者氏名 D	学生 ID -
日時	2006年 6月 9日(金) 15:00 ~ 18:30
場所	寧静館 501
議題 ①各自企画書練り直し案の説明、検討 ②各役職の仕事についてタスク表を作成 ③諸連絡	
参加者 A、B、C、D、E、F、H、I、T、TA	
記録 ① 企画練り直し案 (E、B、H、C、D。説明順。) ※各自の練り直し案(別紙)を参照のこと ・ E案 <E案は事前学習についての提案。案1. VTR作成、案2. 扇作り> ☆質問・指摘(「⇒印」以降は提案者の返答) T) 事前だけではなく事後策の可能性も考えてはどうか。事後策ならただ楽しかった、で終わらせたくないという小学校の先生方の要望に応えられるかもしれない。メインの企画に基づいて考えるべきだ。 D) 事前学習の目標は? ⇒謡の素養を身につけてもらうこと。 事前学習案1,2のうち、どちらがより効果が高そうか。 ⇒案1「能楽師に取材しVTR作成」。 B) 事前学習は現時点で7月上旬を予定しているが、案1の場合、能楽師のスケジュールは合いそうか?VTR作成は日程上難しいのではないか。 ・ B案 <メインWSの練り直し:6つのブース(太鼓、型、装束展示、装束レプリカ着用、紙芝居、ドキュメント制作)を提案> I) 装束レプリカの手配はどうするのか?扇は私達が作るのか? 展示用装束は2・3着必要だと思うが、手配が難しいのでは? E) 交渉でレンタルの可能性あり。レンタルできた場合は、展示に回すのが得策。 E) 紙芝居ブースの場所はどうするのか? T) 所要時間はどれくらいか? ⇒1グループにかかる時間は、数分程度と予想される。 A) 能楽部の人たちに協力を要請する場合、試験期間でも大丈夫か? ⇒協力者はかなりの人数が必要。要請をお願いしたい。	

- l) 教職課程を取っている学生の協力は得られないか。掲示してみてもどうか。
T) 所要時間をシミュレーションしてみるとどれくらいかかるか？
⇒現在のプランだと 120 分かかる。所要時間の圧縮が必要。能面ブース、装束ブースをわけて、児童数を分散させてもよい。

・H 案

<メイン WS の練り直し。型、太鼓、装束の展示に新たに DVD 鑑賞を加案>

- D) 各ブースの想定場所は？
⇒校内全体
B) 1 グループ 10 人とあるが、それだけの人数を 1 度に指導するのは難しいかもしれない。
T) 型体験などの仮設舞台には和室が適しているのでは。
B) DVD の内容は？
⇒未定
l) 演目のダイジェストを集めた 20 分間の DVD 作れるかも。
B) TV、VTR で伝わるか？撮影・編集がかなり大変ではないか。
D) 装束レプリカのブースはなし？
⇒本物の装束展示で十分ではないか。
それぞれのブースの狙う効果は？
⇒未定

・C 案

<展示ブースを 3 つ(装束・扇・面)、体験ブースを 3 つ(型・太鼓・謡)、学習ブースを VTR 上映に>

- H) 「予算 19 万円以内」とはメインの WS で全額使うつもりか？
⇒WS では 12 万 7 千円を予定している。残りは事前事後学習に使う。
l) 事前・事後にいくらかかる計算か？
H) WS を除く予備費として、5 万円ほど残しておきたい。
B) 準備物に「机・椅子 60 脚」とあるが、何を想定しているのか？
⇒アリーナ（体育館）にすべてのブースを置くことを想定しており、ブースの設置の際に使用する予定である。

・D 案

<会場はアリーナのみ。体験ブースを 4 つ(型と謡・太鼓・装束着付け・台詞のアフレコ)、展示ブースを 2 つ(能楽部による演能・能の VTR 上映)、スクリーンに体験ブースの様子を映し出す。>

- B) アリーナにすべてのブースを置くと、ブース間で光・音が漏れるという問題が生じるのではないか。
⇒会場をアリーナのみにする、監視要員が校内全域より少なく済むというメリットがある。光・音は照明の操作や防音機材で何とかできるのでは。
C) 「松」の絵は事前学習で扱うことが出来るか？
⇒おそらく厳しいだろう。ただできる限り、児童が作り上げたものが WS 内に含まれている状況にしたい。
B) 全体的な目標は何か？
⇒小学校の先生方も、私達も含めてワクワクするような企画を立てたい。WS の目標は能楽の実施的な導入だが、プロジェクト全体の目標については皆で話し合いたい。
T) スクリーンを使った放映は、児童がそこにばかり見入ってしまうのでは？
⇒その可能性も大きいだろうが、スクリーン上映は少ないスタッフ数でも実施可能。保護者の方も退屈せずに済むのではないか。



◎練り直しを受けて、浮き彫りになった課題

- 1) 年間の見通し：春・秋それぞれの目標とねらいを明確にする。“児童に最終的にどのような感想を持って貰いたいか”をはっきりと示す。
- 2) 人員集め：大学の能楽部や映画研究サークルなどを当たってみる。
- 3) メイン WS の、事前・事後学習：必要か否か、実施する場合は目的・開催日時をどうするかについて、話し合う。
- 4) メイン WS 企画を掘り下げる：「人」「物」「金」がどのくらい必要か

◎現段階のブース案

- ↳ 型、謡→体、声を使って能を体験する
- ↳ 太鼓→ “
- ・装束展示→本物を見る
- ↳ 紙芝居→知識導入、楽しく学ぶ
- ↳ PC ゲーム→ “

◎協力していただく能楽師

金剛流能楽師 a、観世流能楽師 a、は決定。
囃子方（太鼓）1名と、各流儀の能楽師のアシスタントとして1名ずつを打診する。

②各役職の仕事

- * リーダー：全体を見る、会議の司会、全ての文書の確認
- * サブ：情報管理・伝達、スケジュール管理、昼休みの議事録、進行把握、まとめ
- * 渉外：交渉（提案文書作成・文責・行動を含む）、外部・内部とのパイプ役、内部へのフィードバック文書の作成・伝達、交渉時の企画プレゼン
- * 広報：小学校、大学構内やマスコミ向けの広報（学外のことは渉外と連絡を）、告示・報告・校内誌へアプローチ
- * 会計：予算の執行・責任・報告に関する書類作成

③諸連絡

- ・授業参観の日程を決める
 - ・授業参観の意図を明確にする
 - WS のため、参観で児童の様子を知る・学ぶ
参観時の授業内容について事前に問い合わせる
参観後、レポートを作成、小学校に提出する
- } 真剣さが伝わるように依頼する

※参観依頼メール作成は渉外が担当する。